

08 皇學館オリジナルグッズ作成プロジェクト

皇學館らしいグッズを作ろう！

私たちは、皇學館オリジナルグッズの企画ならびに制作を行っています。商品の企画から価格設定、学内行事やイベントでの販売に至るまでの流れを経験することができます。マーケティング力はもちろん、外部の業者の方と接する機会も多いことから、コミュニケーション力や礼儀作法を身に付けることができます。

メンバー数：2名
活動場所：伊勢市
実施主体：皇學館サービス株式会社
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：R05



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度は、三重県伝統工芸品に指定されている伊勢和紙を「知ってもらいたい」「身近に感じてもらいたい」という私たちの思いから、大豊和紙工業会社様とコラボレーションをさせていただき、『日和帳』という商品を作成しました。本商品のコンセプトが、お世話になった先生方や先輩方に感謝の気持ちを伝えるということであることから、商品名には、「旅立ちの一步が良い日和(=晴れ)でありますように」という思いが込められています。7月より本格的に活動を始め、10月下旬に開催された倉陵祭での販売に向けて活動を進めてきました。商品開発に至るまで、他大学のオリジナルグッズの調査をしたり、ターゲットの設定や地域性と皇學館らしさを出せる商品の案出しをしたり、商品とターゲットとの結びつきを考えたりしました。この一連の流れの中で、複数あるアイデアから最適なものを選択し、まとめることに時間はかかりましたが、複数あるアイデアを必ず1つにまとめなくとも、複数あるアイデアを上手く組み合わせることでより良いものに近づくとことを学びました。

今年度の活動を通して、商品の宣伝及び本活動の周知が学内で出来ていないという課題が見つかりました。今後も大学行事やイベントでの販売を企画しているので、商品の宣伝に関しては、チラシを作成し、学内掲示板へ掲載したり、必修科目の授業やゼミ内で共有をする、本活動の周知に関しては、活動の様子をインスタグラムへ投稿するといった対応をしていく必要があると思います。また、現在2名という少人数で活動しており、少しでも多くの学生に参加してほしいという思いがあるため、継続的な周知をしていきたいと考えています。

活動を通して学んだこと

私たちは、約1年間皇學館大学オリジナルグッズの制作に取り組んできました。大豊和紙工業株式会社様、皇學館サービス株式会社様のご協力のもと、地元の素材である伊勢和紙を使用した「日和帳」という商品を作成しました。活動を通して、お客様のニーズに答えるためにはどのようにすれば良いかと検討し実行する力、コミュニケーション能力、礼儀作法など身につけることができました。

実施主体からのコメント

皇學館サービス株式会社
ご担当者様

メンバーのお二人には、地元の素材を使い、学生や卒業生のニーズを掘り起こす、ということを含頭に、大学生ならではの視点で多方面にリサーチをしていただきました。様々な候補の中から「日和帳」が商品として誕生したのですが、皇學館大学生としての感性がさりげなく込められている素敵な商品に仕上がっています。お二人には大学の学びをさらに深め、実社会で活かしていただきたいと思っています。今後も双方刺激を受け合いながら新たな商品を企画していきましょう。

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

商品を作る、ということは、その商品を使う人の体験を作る、ということでもあります。使う人が、どんなタイミングで、どこで、どんな気持ちで商品を使うのか。今回の「日和帳」では、卒業する学生やお世話になった先生にメッセージを送るタイミングをイメージしながら商品の企画を行いました。この商品が多くの学生の手に渡るように、今後も情報発信を続けてほしいと思います。長期的なプロジェクトなので、他の商品開発もぜひ成功させてほしいと思います。

📢 こんな人におすすめ！

- 物を作って商品として売りたいと考えている人
- コミュニケーション能力をつけたい人
- 人と話すことが好きな人



成果物 / 制作物



▲ 日和帳